

子どもの困り感を知るところから始める コミュニケーション支援

言語聴覚士：栗原陽子

発達に凸凹のあるお子さんの中には、よくお話しする一方で、コミュニケーションの面で苦手さが見られることがあります。例えば、「一方的に話してしまう」「伝わりにくい」「話を聞いてくれない」といった様子です。

大人が「困っている」と感じることもあります。実はお子さん自身も困っているかもしれません。今回は、コミュニケーションにおける子どもの困り感を知り、理解したうえで、どのようにサポートできるかを一緒に考えていきたいと思います。

2025年 **12月17日** 水

- 時間：10：15～11：30
- 場所：横須賀市療育相談センター 会議室
- 定員：20名（事前申し込み制）
- 参加費：無料
- 対象：当センターの利用のある学齢期のお子さんの保護者の方

11/4 13:00～申し込み開始！
11/28 17:00受付終了
※定員到達次第受付終了



【今後の日程】

特別講演 1月14日（水）

発達凸凹への対応のコツ～苦手はサポート・得意は伸ばす～